

## 間質性肺線維症解析支援システムGHNCによる間質性肺炎増悪の評価

### 研究者

(研究代表者) 放射線科医師 國弘佳枝

(分担研究者) 放射線科医師 小野田秀子、放射線科 主任技師 伊月將人

### 研究の背景

肺の CT 画像から、肺実質パターンの分析や間質性肺炎の進行度具合を定量評価する Gaussian Histogram Normalized Correlation segmentation (GHNC) システムが開発されています。

### 研究の目的

CT および病理検査において UIP (usual interstitial pneumonia) パターンと診断される症例は、間質性肺炎の中でも予後が悪く、肺切除後の急性増悪のリスクが知られています。本研究では、肺切除が施行され、病理学的に UIP パターンとの診断が得られた症例の術前 CT および肺切除後の CT を GHNC システムで解析し、間質性肺炎増悪のリスク因子や増悪のパターンについて検討します。

### 研究対象

2009 年 1 月から 2017 年 12 月に当院で肺切除が施行された症例のうち、病理学的に UIP パターンと診断された症例を対象とします。

### 方法

1. 間質性肺炎症例の肺切除後の急性増悪リスクとされている CT での間質性肺炎像、血液検査、呼吸機能検査、術前治療の有無を評価する。CT 画像については、さらに definite UIP、possible UIP、inconsistent with UIP の 3 パターンに分類する。
2. 術前 CT および肺切除後の CT を GHNC システムで解析し、間質性肺炎増悪のリスク因子や増悪の程度、増悪のパターンについて検討する。

### 個人情報保護に関する配慮

患者さん個人が特定されないように、本研究専用の研究用番号を割り振り匿名化し管理しますので、個人情報が出院外に出る事はありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の情報を研究対象から除外しますので、いつでも下記の連絡先までご連絡下さい。

### 照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒755-0241 山口県宇部市東岐波685

山口宇部医療センター臨床研究部臨床研究部長三村雄輔

TEL : 0836-58-2300 / FAX : 0836-58-5219、E-mail: mimuray@yamaguchi-hosp.jp